

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第65回 ビジネス文書実務検定試験 (2.11.22)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第65回 ビジネス文書実務検定試験 (2. 11. 22)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

北海道の阿寒湖に生育するマリモは、国の特別天然記念物に指定	30
されている。直径15センチを超える大きな丸い姿は、世界的にも	60
類を見ないものである。人工的に球状にすることも可能だが、自然	90
に群生するのはこの湖だけだ。	105
本来、マリモは糸状で細長い植物である。湖底を漂ったり岩に付	135
いたりして、光合成を行い生育している。阿寒湖の一部は遠浅で光	165
が届きやすく、成長に適している。ここに吹く南風が特有の波を起	195
こし、藻が絡まり転がりながら、丸く大きくなっていく。	222
近年、この湖で水草が増えて生育地が縮小したり、低気圧の影響	252
で湖岸に打ち上げられたりしたため、生育数の減少が心配された。	282
そこで、市が22年ぶりに調査をした。その結果、個体数や総重量	312
は減少していたが、大きなものは増えていたことが確認できた。	342
DNAの研究によると、マリモは北半球を一周するように帯状に	372
分布しており、そのルーツは日本であることが判明した。しかし、	402
海外の丸い形の個体は、ほとんど絶滅している。これからも我が国	432
のマリモが、生き続けていけるような環境を守っていきたい。	460